

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-014237  
 (43)Date of publication of application : 19.01.2001

(51)Int.Cl. G06F 13/00  
 G06F 3/16  
 H04L 12/54  
 H04L 12/58

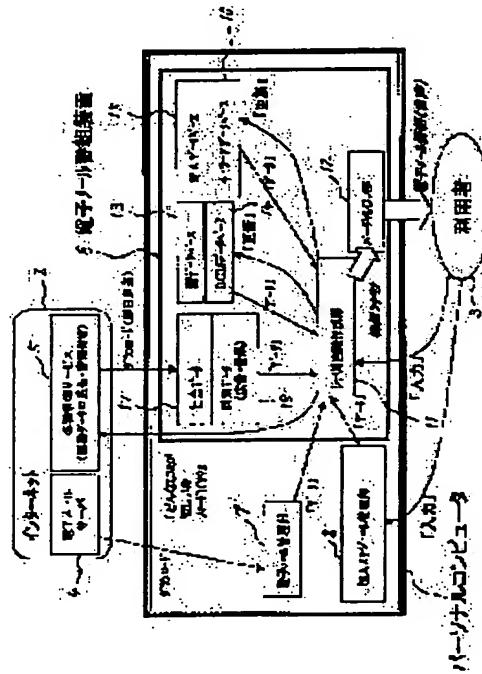
(21)Application number : 11-188871 (71)Applicant : NEC CORP  
 (22)Date of filing : 02.07.1999 (72)Inventor : NUMA TAKAYUKI

**(54) ELECTRONIC MAIL PROGRAM DEVICE AND RECORDING MEDIUM WITH PROGRAM FOR ELECTRONIC MAIL PROGRAM RECORDED THEREON**

**(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To automatically plan a recreational scenario, to transmit the scenario to a user by voice information in such a manner as a radio program and to make electronic mail contents possible to be grasped.

**SOLUTION:** A scenario automatic preparing part 11 downloads social and commercial data from the Internet 2 according to the demand of a user 3 on that day and the characteristic analysis of electronic mails, decides the priorities for the electronic mails, makes BGM(background music) correspond to each electronic mail and prepares a scenario. A virtual DJ(disk jockey) part 2 outputs the scenario by voice as well as BGM data with phrases selected according to the demand of the user 3 among preliminarily prepared specific expression.



**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 20.06.2000  
 [Date of sending the examiner's decision of rejection] 07.10.2003  
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
 [Date of final disposal for application]  
 [Patent number]  
 [Date of registration]  
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
 [Date of extinction of right]



[0007] 本発明の電子メール番組装置は、さらに、前記電子メールを前記BGMデータと共に音声出力するデータとして蓄積する。

[0016] 本発明の電子メール番組装置は、シナリオ自動動作部11とバーチャルD/Fを備えるようにしてよい。

[0008] 本発明の電子メール番組装置は、利用者宛に蓄積した電子メールの特徴を分析し、前記特徴に閲覧した件が音声を分析してシナリオを作成するシナリオ自動動作部、あらかじめ用意した待合の音声により前記シナリオを音声出力するバーチャルD/F部とを備えるようにしてよい。

[0009] 本発明の電子メール番組装置は、さらに、前記特徴を分析部からダウンロードして前記データベース1と各データベース13、層の上でその日の日を特徴付けるデータベース14は、電子メールのBGM判定結果とその判定に最も近いBGMデータを一意に対応させている。

[0010] 本発明の電子メール番組装置は、前記シナリオ自動動作部に出力する特徴データベースを備えるようにしてよい。

[0011] 本発明の電子メール番組装置は、前記データベース1と前記特徴部が前記特徴部によって前記電子メールの出力順序を決定するようにしてよい。

[0012] 本発明の電子メール番組装置は、前記データベース1と前記データベース13、BGMデータベース14、対人データベース15、キーワードデータベース16は、シナリオ自動動作部が前記特徴部によって前記BGMデータベースから対応するBGMデータを出力するようにしてよい。

[0013] 本発明の記憶部は、BGMデータベースから特徴と対応させてBGMデータベースに蓄積する処理と、前記電子メールを利用して音が読みむとき前に記憶部電子メールの特徴を分析して前記BGMデータベースから対応するBGMデータを出力する処理とをコンピュータに実行せらるためのプログラムを監視する。

[0014] 本発明の記憶部は、利用者宛に音声した電子メールの特徴を分析し、前記特徴に閲覧した件が音声を分析するデータとして前記シナリオを音声出力する。[0015] 本発明の記憶部は、電子メール番組装置6を頼るようにしてよい。

[0016] 本発明の電子メール番組装置は、さらに、前記電子メールを前記BGMデータと共に音声出力するデータとして蓄積する。

[0017] 本発明の電子メール番組装置6は、シナリオ自動動作部11とバーチャルD/F (Die Jockey) 部12とを含む。また、各種データベース13、BGMデータベース14、対人データベース15、キーワードデータベース16を含み、さらに必要に応じて、各種情報サービス6と連携した社会データ17、商業データ18を含む。

[0018] 本発明の電子メール番組装置は、層の上部で待合の日を特徴付けるデータベース14は、電子メールのBGM判定結果とその判定に最も近いBGMデータを一意に対応させている。

[0019] 本発明の電子メール番組装置は、前記データベース1と前記特徴部が前記特徴部によって前記電子メールの出力順序を決定するようにしてよい。

[0020] 本発明の記憶部は、BGMデータベース13、BGMデータベース14、対人データベース15、キーワードデータベース16と対照し、利用者3により随時更新可能である。たとえば、山田氏を「嫌いな人物」から「好ましい人物」に記憶部6に記憶するといった更新が可能である。

[0021] 本発明の記憶部は、BGMデータベースから特徴と対応させてBGMデータベースに蓄積する処理と、前記電子メールを利用して音が読みむとき前に記憶部電子メールの特徴を分析して前記BGMデータベースから対応するBGMデータを出力する処理とをコンピュータに実行せらるためのプログラムを監視する。

[0022] 本発明の記憶部は、電子メール番組装置6を頼るようにしてよい。

[0023] 「発明の実施の形態」本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は本発明の第1の実施形態の構成を示すブロック図である。

[0024] 1はインターネット2に接続されており、利用者3が操作を行う。インターネット2は、電子メールサーバ4と各種情報サービス6とを含む。バーンナルコンピュータ1は、電子メール番組装置6と電子メール管理部7と個人スケジュール管理部8とを含む。電子メール管理部7は、電子メールサーバ4から電子メールをダウンロードして管理する。個人スケジュール管理部8は、一般にPIM (Personal Information manager) ソフトと呼ばれる個人スケジュール管理ソフトをインストールされ、利用者3の「いつ、何をする」などの個人スケジュール6のデータを基に、音声出力する。以下はその置き分けの

より待合の各種情報サービスサイトから、社会データ、商業データをダウンロードする。図3は、夏場入り口と因連情報ダウンロードの一例を示す説明図である。

[0023] 1次に、電子メールの特徴分析と優先順位決定を行う(ステップS3)。図4は、電子メールの特徴分析と優先順位決定の説明図である。シナリオ自動動作成部11は、電子メール管理部7の送信者、メールタイトルなどをキーとして各種データベースを参考し、個々の電子メールに付与された特徴を要素として優先順位を10設定する。すなわち、あるメールが上記特徴のいずれかに該当する場合は、添削内に定義された特徴を計上し、その合計得点をメールの「特徴」と称する。後述する例を除き、原則として得点の高いメールは重要なメールであるので、その大きい順にメール番号を付与し、最終的に電子メールの優先順位を一列に決定する。

[0024] 1また対人特徴と内部特徴はそのメールの内部的特徴の青子となるものであり、これに該当するメールの場合は、そのキー「ワード」を「メール特徴」と称する。

[0025] 1電子メールの特徴分析については、元と

[0026] 1最後の電子メールに付与される「元」と「終」の合計得点を計算し、これを「特徴」と称する。

[0027] 1また出入口名および対人/内部特徴のキー

[0028] 1の要請(好ましい、嫌い、重要な)はメールの

[0029] 1BGMの傾向を決める要となる情報であり、差出人名に

[0030] 1対し後に後者を「BGM判定」と称する情報として定義する(例・・・「重要・好・切」)。対人特徴と内部特

[0031] 1徴の好嫌が該当する場合は、内部特徴を優先する。

[0032] 1次に、各電子メール差しは電子メール群の

[0033] 1判定とBGMの閲讀付けを行(ステップS4)。図6

[0034] 1は、BGMの閲讀付けの説明図である。ステップS3に

[0035] 1従い優先順位を決定した電子メールまたは電子メール群の各々について、差出人名もしくは「BGM判定」情報

[0036] 1を用いてBGMデータベースを検索し、そのメールの内

[0037] 1容最も適したBGMを閲讀付ける。また特に特徴の無

[0038] 1いメールでは「通常」のBGMを付与する。つまり、好ましいメールには好みのBGM、要性のメールには通常のBGM、…という具合に付与する。BGMの定義にあた

[0039] 1BGM判定が矛盾する場合は、差出人名を優先する。

[0040] 1次に、シナリオ作成を行う(ステップS5)

[0041] 1。ここでは、電子メール番組のシナリオを作成す

[0042] 1。シナリオはデータベース1と、データカードと称する。もしも利用者3

[0043] 1が電子メールを「断り」意をがあれば、これ以降の処理

[0044] 1を行はず、これまでに決定された順序で、適切なBGM

[0045] 1と共に電子メールを閲讀し、そのメールの内

[0046] 1容最も適したBGMを閲讀付ける。また特に特徴の無

[0047] 1いメールでは「通常」のBGMを付与する。つまり、好ましいメールには好みのBGM、要性のメールには通常のBGM、…という具合に付与する。BGMの定義にあた

[0048] 1

[0049] 1「反響特徴」と称する。

[0050] 1(ステップS6)

[0051] 1。データベース1と、個人スケジュール管理部8

[0052] 1のデータカードと対照し、キーワードが一致する場合はこれを「時事特徴」と称する。

[0053] 1(ステップS7)

[0054] 1。その電子メールを「時事特徴」と称する。

[0055] 1(ステップS8)

[0056] 1。その電子メール群があらかじめ指定した数(仮に3通とする)以上のメールの集合である場合は、これを「特徴」と称する。

[0057] 1(ステップS9)

[0058] 1。この電子メールの特徴もしくは本文を社会データ

[0059] 17、個人データベース18と、個人スケジュール管理部8

[0060] 1のデータカードと対照し、キーワードが一致する場合はこれを「時事特徴」と称する。

[0061] 1(ステップS10)

[0062] 1。その電子メールを「時事特徴」と称する。

[0063] 1(ステップS11)

[0064] 1。この電子メール群があらかじめ指定した数(仮に3通とする)以上のメールの集合である場合は、これを「特徴」と称する。

[0065] 1(ステップS12)

[0066] 1。ここでは、電子メール番組のシナリオを作成す

[0067] 1。シナリオはデータベース1と、データカードと称する。もしも利用者3

[0068] 1が電子メールを「断り」意をがあれば、これ以降の処理

[0069] 1を行はず、これまでに決定された順序で、適切なBGM

[0070] 1と共に電子メールを閲讀し、そのメールの内

[0071] 1容最も適したBGMを閲讀付ける。また特に特徴の無

[0072] 1いメールでは「通常」のBGMを付与する。つまり、好ましいメールには好みのBGM、要性のメールには通常のBGM、…という具合に付与する。BGMの定義にあた

[0073] 1

[0074] 1により、「通常」、「元気」など、複数選択

時の中から選択する。

(2) 個別トピックの紹介。読み上げるメールの種類

と、その中で最も「得意」の高いメールの「メール特

徴」を本日のトピックとして紹介する。

(3) 「時事特徴あり」の電子メールのうち、最も「得意

」の高いメールを選択し、紹介する。時事情報、すな

わち、その日の出来事・天気に関連する情報のキーワ

ードと、ある電子メールの時事特徴のキーワードが一致

しているれば、まずその時事情報を紹介した後、関

連の電子メールの読み上げを行う。また(5)で音楽な

どの中折が入った後の電子メール読み上げ用例のときに

は、時事情報とそれに関連する電子メールがある場合に

同様の処理を行ってから(4)の段階へ進む。

(4) (6) ステップ3で決定されたる優先順位

に従い、各々音頭コメント3で決定されたるを紹介す

る。電子メールの合間に、設定に応じて広告・音楽を挿

入する。広告や歌の直後に、再び(3)と同様に時事

情報関連のメールを読み、電子メール結果の1/4、1

/2、3/4のタイミングで(6)へ移行する。このタイミ

ングは既定変更可とする。

(6) 最後に、次回の番組を期待させる情報を紹介す

る。「最近誰それさんにメールを出していない?」、

「明日の予定は〇×である。」などの次回以降につなが

る情報を紹介する。

(7) 終了のあいさつ。利用者3の意向により、「通常

常」、「元気」、「仕事」など普段連絡の中から選択

する。

[0031] 例に設定する場合は、「好」や「悪」

「要注意」などの特徴が与えられた電子メールの

みを抽出した構成を行うことも可能とする。例えば、番

組シナリオの該文字数が規定値を超える場合や、併まし

い電子メールのみを読みみたい場合などである。

[0032] 次に、パートチャルDJ部12による番組放

送を行う(ステップS6)。図7は、パートチャルDJ部

12による番組放送の説明図である。パートチャルDJ部

12は、ステップ3により作成されたシナリオの各段階

において、利用者3の要望に沿った情報の書き回し候補

の中からアートランダムに一つを選択し、これを音声で

出力する。各々の抑揚はその音頭気に沿つたものとす

る。以下はその一形態である。

[0033] 「開始のあいさつ」の場合は、その日の要望

が「通常」であれば、

(a) 「こんばんは。10時27分になりました。メールをお伝えします」

(b) 「こんばんは、メールの時間です」

その日の要望が「元気になりたい」であれば、元気なBGMと共に……

(a) 「おーっ! 聞こえないぞー、もー廣、おーっ

(b) 「4日もメールが届いているぞー氣に行こう

40 1. 個人データベース1-5、キーワードデータベース1-6 の更新(併用判定の再定義、人名の追加など)・データをダウンロードするサイトの変更(情報源の改善)。各団体が営利・非営利目的で本発明と連携しつつ運営する情報サービスを提供するサイトがインターネット上に複数存在するものと仮定する。

[0034] 1. 本発明の第2の実施の形態について説明する。図8は本発明の第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。第2の実施の形態は、パートナルコンピュータ1はインターネット2に接続されており、

用プログラムを記録している。この記録媒体9は、磁気ディスク、半導体メモリ、光ディスク、その他の記録媒体である。

[図1] 第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

[図2] 第1の実施の形態の優先順位を示すフローチャートである。

[図3] 乗組入力と伝達情報データの説明図である。

[図4] シナリオ作成の優先順位を示すフローチャートである。

[図5] BGM選択付けの説明図である。

[図6] シナリオ作成の説明図である。

[図7] パーティャルDJ部による番組放送の説明図である。

[図8] 第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【特許の使用】

1 パーティナルコンピュータ

2 インターネット

3 利用者

4 電子メールサーバ

5 各種情報サービス

6 電子メール番組装置

7 電子メール管理部

8 個人スケジュール管理部

9 記録媒体

10 パーティャルDJ部

11 シナリオ自動作成部

12 パーティャルDJ部

13 展示データベース

14 BGMデータベース

15 対人データベース

16 キーワードデータベース

17 社会データ

18 商業データ

電子メールの内容を把握することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

[図1] 第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

[図2] 第1の実施の形態の優先順位を示すフローチャートである。

[図3] 乗組入力と伝達情報データの説明図である。

[図4] シナリオ作成の優先順位を示すフローチャートである。

[図5] BGM選択付けの説明図である。

[図6] シナリオ作成の説明図である。

[図7] パーティャルDJ部による番組放送の説明図である。

[図8] 第2の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【特許の使用】

1 パーティナルコンピュータ

2 インターネット

3 利用者

4 電子メールサーバ

5 各種情報サービス

6 電子メール番組装置

7 電子メール管理部

8 個人スケジュール管理部

9 記録媒体

10 パーティャルDJ部

11 シナリオ自動作成部

12 パーティャルDJ部

13 展示データベース

14 BGMデータベース

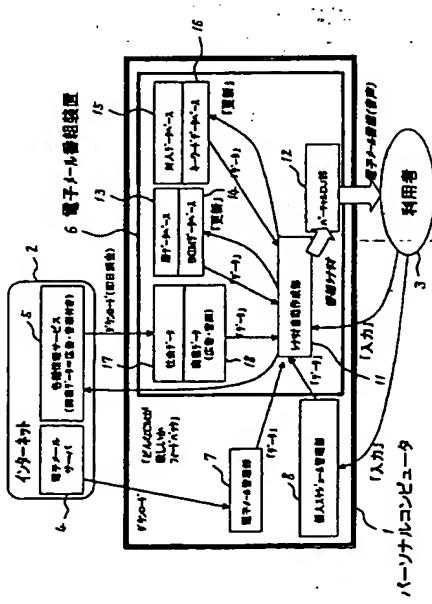
15 対人データベース

16 キーワードデータベース

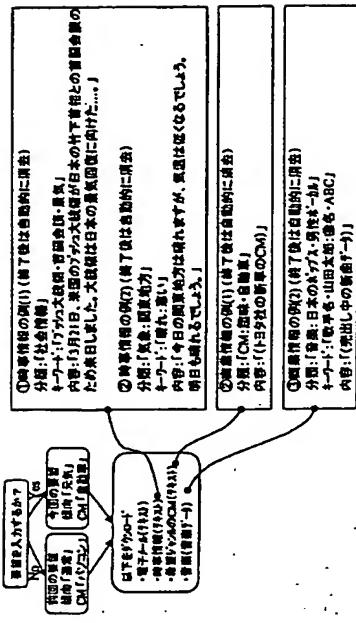
17 社会データ

18 商業データ

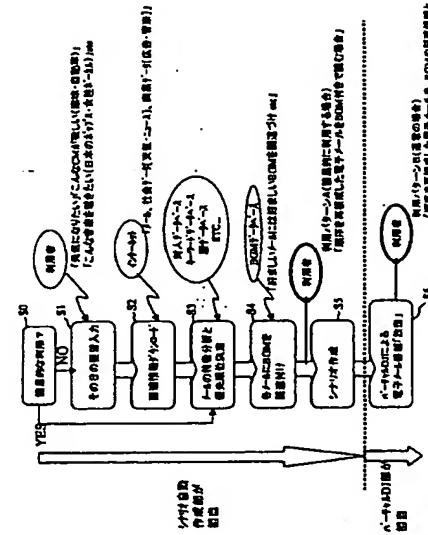
[図1]



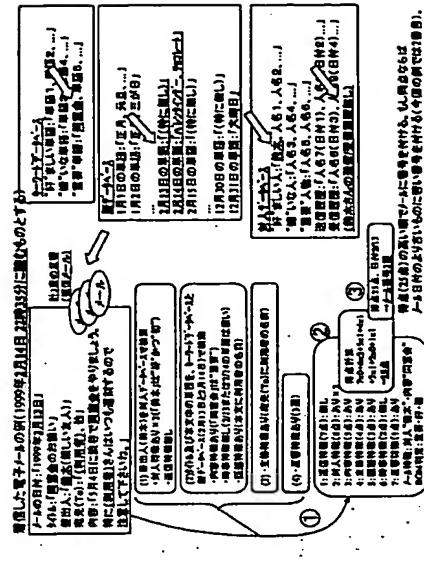
[図3]



[図2]

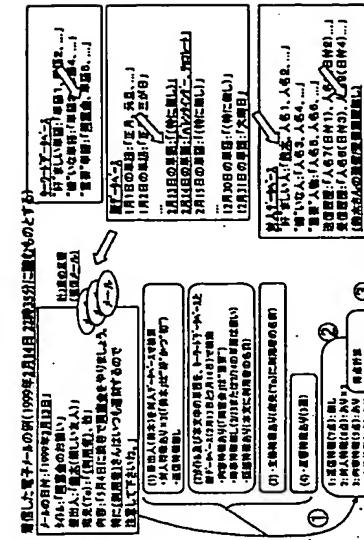


[図4]



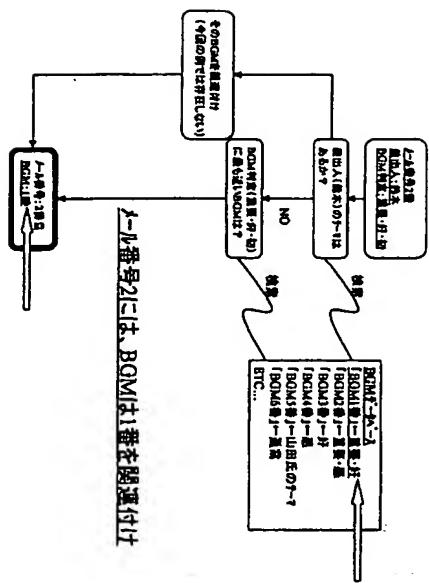
漏洩が目的的でない場合(1999年4月14日登録分)に適用のこと。

[図1]

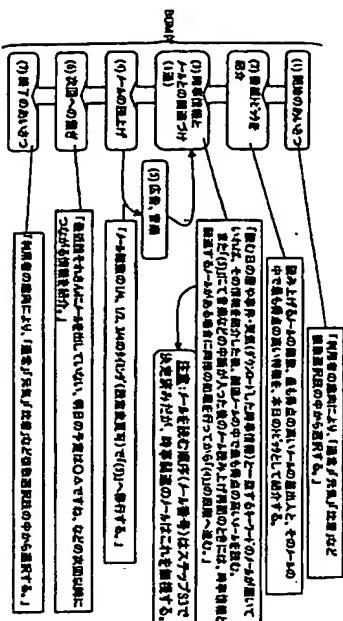


漏洩が目的的でない場合(1999年4月14日登録分)に適用のこと。

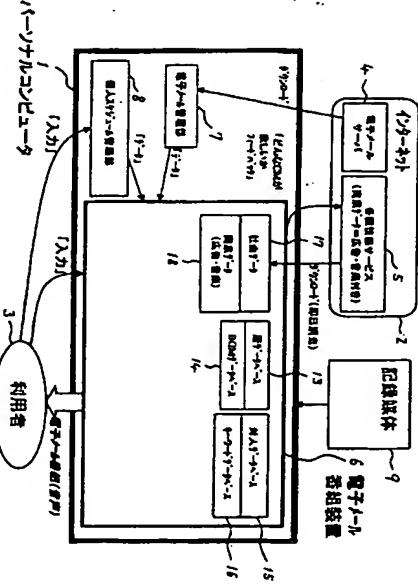
60



四



88



71

